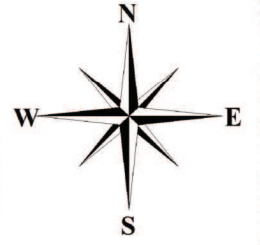


木曾川水系把の沢川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

位置図

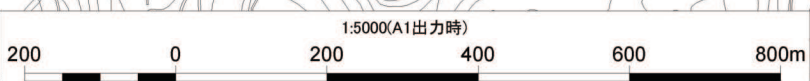


索引図



凡例
浸水した場合に想定される水深(ランク別)

0.5m未満の区域
0.5m~3.0m未満の区域
3.0m~5.0m未満の区域
5.0m~10.0m未満の区域
洪水浸水想定区域図の対象となる区間



測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4JHs 511

木曾川水系把の沢川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

1. 説明文
 - (1) この図は木曾川水系把の沢川について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の把の沢川の河道整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により把の沢川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されてない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
 - (1) 作成主体 長野県
 - (2) 公表年月日 令和5年3月31日
 - (3) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 - (4) 対象となる河川 木曾川水系把の沢川(実施区間)
左岸:長野県木曾郡木曾町開田高原西野126から
長野県木曾郡木曾町開田高原西野1-1まで
右岸:長野県木曾郡木曾町開田高原西野123-2から
長野県木曾郡木曾町開田高原西野874-2まで
 - (5) 公表の前提となる降雨 把の沢川流域全体に24時間で836.0mmの降雨を想定
 - (6) 関係市町村 木曾町
 - (7) その他計算条件等 氾濫区域を5m格子(計算メッシュ)に分割し、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表わされていない場合があります。